

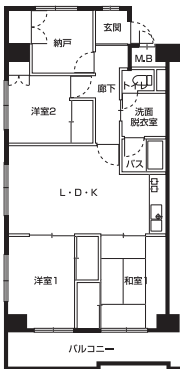
ライフスタイルの変化に合わせたリフォームで、 将来も安心なバリアフリーの住まいを実現。

子供も独立し、これからの2人の生活を考えて、76㎡の間取りをゆったりとした2LDK+納戸に全面リフォーム。「住まいを暮らしに合わせるのではなく、暮らしに合わせて住まいを変える」リフォーム実例です。

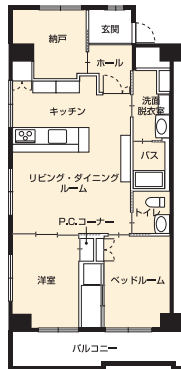


築24年のマンション11階に新築時からお住まいのNさんご夫婦。数年前から、奥様が病気で歩行が困難になり、家事や室内での移動にも苦勞していたそう。そこで、これから先の老後の暮らしを考えて、バリアフリーや水回りスペースの変更を重点にリフォームを行いました。障害物を減らしてオープンな空間を創ることで、リフォーム後は奥様も室内を自由に移動ができるようになり、家事も可能に。「何よりも暮らしに不安がなくなったことで、毎日笑顔で暮らせるようになりました」とご主人。また、オープンな空間に生まれ変わったことにより、普段は夫婦二人で快適に暮らせ、休日には子供たちの家族を呼んで大勢で過ごす。そんな暮らしも可能になったそうです。「考えられるアイデアや工夫はすべて取り入れました。細かな要求にも朝日管理さんは100%応えてくれました」と今回のリフォームには大変満足されています。

Before



After



担当コーディネーターからの一言

「Nさんの場合、全面リフォームというケースだったので、バリアフリーやキッチン、トイレの移動やトイレの思い切った変更が可能でした。暮らしの変化に合わせて少しずつリフォームしてゆくのも良いですが、トータルでリフォームした方が、最終的には経済的でよりバランスの取れた空間に仕上がること多いようです」



キッチンは、新築時のオープンタイプから、対面カウンタータイプに変更しています。「今まで、家族を背にして料理をしていたのが、顔を見て会話しながら料理を楽しめるようになった」とご主人も満足そう。窓があることで眺めが楽しめ、風通しも良くなるなど、とても快適になったそうです。また、奥様がイスに座ったまま水仕事ができるよう、シンクの下は足が入るスペースに。電子レンジや炊飯器を設置する収納棚の高さも座って届くレベルに統一しています。



室内を安全に移動できるよう、玄関の上がり框から先は段差がまったくないフルフラット化しています。以前は廊下だった部分もオープンな空間とし、引き戸は動きの軽い吊り戸タイプを採用しています。



収納スペースの一角を利用して、リビングに造り付けられたPCコーナー。「扉を開ければ、すぐにパソコンが使えるとても便利。この空間があれば、わざわざ書斎用にひと部屋使う必要はないですね」とご主人。



車イスに乗ったまま浴室に入れるよう、入り口は3枚引き戸にしています。床も段差のないフラットタイプです。浴槽も跨ぎやすいフラットタイプ。滑りやすい浴室での事故を防ぐため、体をしっかりと支えてくれる手すりを3方の壁に設置しています。



ベッドルームから奥様が一人でもトイレに行けるよう、トイレを移動しました。壁面にはカウンターの付いたL型手スリを、前面にも立ち上がり補助する可動式の手スリを設置。車イスで入れる広さを確保し、座って使える洗面化粧台も併設しました。